SURE 静岡大学学術リポジトリ
Shizuoka University REpository

VII 広報・刊行物
(年次報告(平成24年度後期・25年度前期))

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2014-04-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: ライアン, 優子 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00007705

Ⅶ　広報・刊行物

ライアン　優子

１．活動概要

平成25年度における国際交流センターの主な広報活動、及び刊行物は以下である。

広報

①　国際交流センターウェブサイトの情報発信機能強化
②　大学ウェブサイトからの情報発信
③　海外同窓会Facebook
④　学内広報の強化
⑤　プレスリリース活動

刊行物

①「国際交流センターニュース」第14号・第15号（リニューアル）
②「国際交流センター紀要」第７号
③「留学生ガイドブック」
④　留学関連の冊子等

２．広報活動について

①　国際交流センターウェブサイトの情報発信機能強化

国際交流センターの日々の活動をセンターのウェブサイト（http://www.icsu.shizuoka.ac.jp/）上で発信するために、「News Update」というページを新設し、トップページに配置した（日・英両ページ）。同セクションを活用し、海外教職員の往来訪、留学生の地域交流の様子等の報告を頻繁に行った。また、「よくある質問」、「留学体験談」のページを新設し、海外からの留学生と留学を希望する日本人学生への情報提供のページとして活用している。

②　大学ウェブサイトからの情報発信

静岡大学のウェブサイト上で、大学間協定の締結、国際会議等、全学に関連する国際活動についての情報発信を、日英両言語にて行った。

③　海外同窓会Facebook

平成24年度に開設したインドネシア同窓会向けのFacebookページを、全学の海外同窓会用に改め、海外に住む静岡大学卒業生全般向けの情報発信に活用している。また、平成25年10月にタイの同窓会によって、同会のメンバーの交流を促進する目的でFacebookページが開設されたため、海外同窓会サイト間のリンクを行っている。

④　学内広報の強化

大学内の学生と教職員向けの広報強化のために、センターの主催する海外留学プログラムや留学イベント等の告知を大学の電子掲示板にて行った。また、年度初めの部局の新入生向けオリエンテーションにてセンターと留学プログラムの紹介、掲示物の配置場所の工夫を行った。

⑤　プレスリリース

大学の国際活動をマスメディアで発信するため、広報課の協力を得て、プレスリリース活動を行った。平成25年は10月31日付の中日新聞の県内総合欄にポーランド大使の浜松訪問の記事が掲載される等の成果があった。

３．刊行物について

①「国際交流センターニュース」第14号・第15号（リニューアル）

平成25年度は、国際交流センターニュースのデザインを改め、新しい内容を盛り込んでリニューアルを行った。第14号は、新入生を主なターゲットとし、留学プログラムや留学生支援ボランティアの紹介を盛り込んだ。第15号は、学内の国際交流活動の紹介を目的に、理学部のハーバード大学＆MIT研修や、国際的な研究室の紹介、インターアカデミアの実績報告等の情報を掲載した。

②「国際交流センター紀要」第７号（平成26年３月発行）

センター専任教員を主な執筆者とする論文の他に、日本語教育、指導・相談業務、学生交流、海外学生派遣、地域交流、海外大学・機関との交流、刊行物・広報などのセンター活動報告が収録されている。

④「留学生ガイドブック」

平成24年度版の同媒体の情報を改訂、更新する形式で平成25年度版を発行をした。今後は、同媒体上の情報の中で、来日する留学生にとって必要性の高いもののウェブサイトへの掲載等を検討していきたい。

⑤　留学促進関連の冊子

国際交流課作成の「海外留学ガイドブック」および「静岡大学からの海外留学」を発行し、海外留学を希望する学生に配布している。また、夏季短期留学参加者、交換留学渡航者による報告書も作成、印刷、配布をしている。

４．課　　題

平成26年度に向けた、広報活動の主な課題は以下である。

• オンライン上の情報の充実（学内・学外向け）

学内外の外国人留学生、日本人留学生、国際交流活動に携わる静岡大学の教職員向けのオンラインの情報（日・英）を充実させたい。情報過多にならぬよう、優先順位をつけ、

各種のユーザーに使いやすい情報の配置を心がける。

• 様々な広報関連機関との連携

大学の広報課、各部局の広報、学外の国際関連団体と連携し、静岡大学の国際関係の情報が、多くの場所から発信力されるように努めたい。